

概要

オールケーシング工法は、ケーシングを使用して掘削孔を保護しながら掘削を行う工法です。

地盤の崩壊や地下水の流入を防ぎ、高精度かつ安全に掘削を進めることが可能です。

特に軟弱地盤や水中地盤など、困難な条件下での基礎工事に適しており、橋梁基礎や建物の杭基礎工事などで広く採用されています。



特長

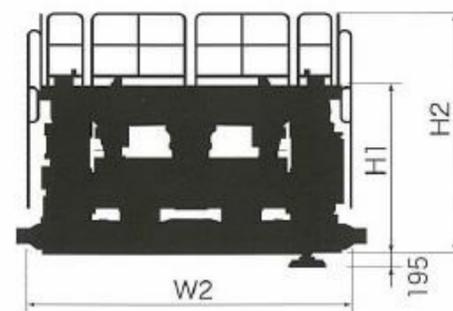
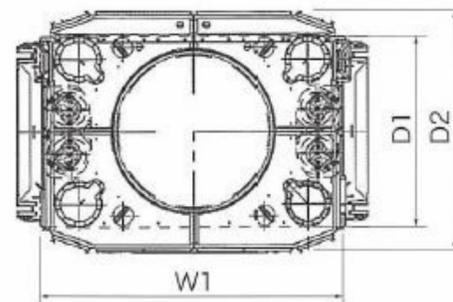
- 高い安全性：地盤の崩壊リスクを抑え、安定した掘削を実現します。
- 幅広い適応範囲：軟弱地盤から砂質地盤、水中地盤まで対応可能。
- 高精度の施工：大口径で深い掘削にも対応し、制度が求められる工事に最適。

全周回転掘削機



RT-300III 仕様

適用掘削径	mm	Φ2000~Φ3000
回転数	min <sup>-1</sup>	0.6/1.0/1.7
回転トルク	kN・m	5,280/3,100/1,780 瞬時6,040
押込力	kN	最大 820+自重 390
引抜力	kN	4,020 瞬時4,470
ストローク	mm	750
本体寸法	mm	H1=2,780 W1=5,010 D1=3,590
ステージ寸法	mm	H2=3,759 W2=5,643 D2=4,316
重量	t	57.5



RT-200H 仕様

適用掘削径	mm	Φ1000~Φ2000
回転数	min <sup>-1</sup>	0.9/1.5/2.5
トルク	kN・m	2,950/1,740/1,010 瞬時3,130
押込力	kN	最大 590+自重 250
引抜力	kN	3,450 瞬時3,940
ストローク	mm	750
本体寸法	mm	H1=2,128 W1=4,000 D1=2,800
ステージ寸法	mm	H2=3,107 W2=4,506 D2=3,190
重量	t	35.8

## RT-200AⅢ 仕様

適用堀削径	mm	Φ1000~Φ2000
ケーシング回転数	min <sup>-1</sup> (rpm)	1.1/1.8/3.1
ケーシングトルク	kN・m (tf・m)	2,170/1,270/740 (221/130/75)
押込力	kN(tf)	最大 470(48)+自重 230(24)
引抜力	kN(tf)	2,600(265) 瞬時2,990(305)
ストローク	mm	750
本体寸法	mm	H1=2,117 W1=3,900 D1=2,490
ステージ寸法	mm	H2=3,086 W2=4,148 D2=3,167
重量	t	30

## RT-200AL 仕様

適用堀削径	mm	Φ1000~Φ2000
ケーシング回転数	min <sup>-1</sup> (rpm)	1.3/2.1/3.7
ケーシングトルク	kN・m (tf・m)	1870/1090/630 (191/111/64) 瞬時2,175(222)
押込力	kN(tf)	最大 470(48)+自重 220(23)
引抜力	kN(tf)	2,600(265) 瞬時2,990 (305)
ストローク	mm	500
本体寸法	mm	H1=2,128 W1=4,200 D1=1,890
ステージ寸法	mm	H2=3,107 W2=4,800 D2=2,490
重量	t	28.4 (29.3)

## RT-150AⅡ 仕様

適用堀削径	mm	Φ800~Φ1500
ケーシング回転数	min <sup>-1</sup> (rpm)	1.3/3.7
ケーシングトルク	kN・m (tf・m)	1,400/480 (143/49)
押込力	kN(tf)	最大 360(37)+自重 200(20)
引抜力	kN	2,050(209)
ストローク	mm	750
本体寸法	mm	H1=2,056 W1=3,400 D1=2,000
ステージ寸法	mm	H2=3,035 W2=3,736 D2=2,850
重量	t	26.1